

マッスルスーツで“楽々”

大東銀 現金運搬を公開



装置を着用し、30kgのケースを軽々と持ち上げる大越さん

ンを市内の事務センターで行った。

導入したのは菊池製作所が製造した県産の「マッスルスーツ®」で、圧縮空気で人工筋肉が動き作業者の負担を軽くする。呼吸センサーで荷物を持ち上げる時に息を吸うと装置が作動、腰の負担を三分の一に軽減する。

大東銀行(本店・郡山市)は一日、紙幣、硬貨運搬作業の負担軽減のデモンストラーション

重さを三十kgにし、台車から台車に軽々と移した。現金の上げ下ろしは一日平均五十回、多い日では百回ほどになり担当の大越周三さん(五十八)は「装置のおかげで、ずいぶん楽になった」と効果を実感している。

減に導入した腰部補助装置(アシストスーツ)のデモンストラーション

県のロボット導入事業費補助金を活用し購入した。同行は導入を通し県が目指す「ふくしまロボットバレー」形成に協力する。